

第2回市民会議におけるご意見への回答一覧

意見内容		意見に対する回答
1 計画について		
<p>計画策定の趣旨</p> <p>基本目標(5)</p>	<p>アンケート結果に、給食時間が楽しい理由として「みんなといっしょに食べられるから」と出ており、ここに給食の意味と重要性があると感じる。基本目標(5)「新しい生活様式に対応しながら、楽しく食べる習慣を身につけましょう。」とあるが、コロナ禍の中で以前のような取り組みが縮小・取りやめとなっている中、新たにどのような課題が出てくるのかが、気になる。</p> <p>今回、コロナ禍の新しい生活様式の中で、色々な事が変わりつつある中で、それに向かってやっていくという内容を少し盛り込んでもらえたらと思う。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり文言を修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● P2 計画策定の趣旨 18行目～20行目 <p>「新型コロナウイルスの感染拡大などの社会環境の変化に対応する食育推進の方向性として」の文面を加え、次期計画における徳島市の食育推進の方向性を明示</p> <ul style="list-style-type: none"> ● P9 基本目標(5) <p>「新しい生活様式」の用語解説とその実践例について図を用いて追記</p>
<p>基本目標(6)</p>	<p>基本目標「(6) 徳島県食材を使った豊かな食生活を実践しましょう」の中で、6行目「徳島産の食材を家庭の食卓や給食などに積極的に導入し」の部分で、「徳島の農林水産物を」という文言に改めた方が良いかと思う。徳島は豊かな土地に恵まれた農作物の生産地であるとともに、豊かな水産資源も持っている中で、私たち徳島市民はそのような環境があるにも関わらず、魚を食べるという事がおざなりにされているのではないかと考えている。特に、青魚は必須アミノ酸などバランス良い。幼少の頃から老年まで、近くに採れるものを食べる事が大事だと思う。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり文言を修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● P6 基本目標(6) 5行目 <p>「徳島の農林水産物を使用した食材」に修正</p>
<p>基本目標(8)</p>	<p>基本目標「(8) 食品の情報を見分ける知識を身に付けましょう」について、食品だけの情報ではないので「食に関する情報を」と修正してもいいではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり文言を修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● P6 基本目標(8) <p>「(8) 食に関する正しい知識を習得し、判断する力を身に付けましょう。」</p> <p>本文についても、食品表示などを含めた食に関する知識の習得に加えて、食に関する様々な情報の中から、正しい情報を判断する内容に変更</p>

第2回市民会議におけるご意見への回答一覧

意見内容		意見に対する回答
<p>国の次期計画の方向性として「SDGs(持続可能な)」がある。市の計画にも取り込むべきではないか。 基本目標「(9) 食を通して環境について考えましょう。」の部分を、「食を通して持続可能な環境を考えましょう」といった形で「持続可能な」という言葉を入れる事も可能ではないか。</p>		
<p>国次期計画では、SDGsに関して国が取り組んでいく方向性が見受けられる。保育所等の関わりの中でも、徳島でSDGsを知らない子が沢山いる印象がある。 それをまず認知してもらうような枠組みや情報発信が必要。国と足並みを揃えた計画にするには、SDGsが一つキーワードになる。</p>		<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり文言を修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● P2 計画策定の趣旨 6行目～10行目、18行目～20行目 国次期計画における重点事項を記載し、徳島市の食育推進の方向性としても、SDGsの考え方を踏まえ、持続可能な食を支える意識啓発に取り組む必要がある内容を追記
<p>計画策定の趣旨</p> <p>基本目標(9)</p>	<p>SDGsについては、言葉をまず広げていく必要がある。知らない人が多いと思うので、皆に知らせた方がいい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● P3 「SDGs」の用語解説と17の目標のロゴを追記 ● P9 基本目標(9) 3行目 <p>本文を「食を通じて持続可能な環境について考えましょう」に修正</p>
	<p>持続可能な未来に向けてバトンタッチする時である。婦人団体でも、SDGsやエシカル消費をテーマとして取り組んでいる。</p>	

第2回市民会議におけるご意見への回答一覧

意見内容		意見に対する回答
計画の推進	<p>啓発の部分で、サブタイトルやテーマを掲げて、この5年間はこの方向性でいくというのがあっていいのではないかと。例えば、「SDGsの目標達成に向けて皆で取り組もう」とか「全ての世代でやっぺいこう」のようなキャッチーな、口ずさみたくなる様なテーマを提示出来ると、SDGsの啓発にもなる。 食育は小中高からずっと生涯通してやっぺいしていくので、色々な取組において17項目のどの目標を中心にやっぺいしていくのか、達成するのかをロゴを活用して表示すれば、皆が意識しやすい。</p>	<p>次期食育推進計画のサブタイトル等を付すことは、計画の周知・啓発を行う上で、計画の方向性を分かりやすく示せることから、有効な取り組みだと考えられます。 今後作成する次期計画の啓発リーフレット(概要版)や市ホームページにおいて、サブタイトル等の表現やレイアウトを検討し、市民に分かりやすい食育の啓発に努めてまいります。</p>
	<p>基本理念は分かりやすくいいが、肉付けがあっぺいもいいと思う。サブタイトルが付いてもいいし、徳島は食材が豊富な町なので、そのあたりもニュアンスとして入ると、特色が出るのではないかと。</p>	
	<p>国の次期計画の方向性として「デジタル化」がある。それぞれの食育の推進の方法の中に、「ICTを活用した」のような文言があっぺいもいいのではないかと。</p>	
		<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり文言を修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● P2 計画策定の趣旨 6行目～10行目、18行目～20行目 国次期計画の重点事項を記載し、徳島市の食育推進の方向性としても、社会環境に対応するため、デジタル技術を活用した効果的な情報発信に取り組む必要がある内容を追記 ● P16 1 家庭における食育の推進 【現状・課題と取組みの方向性】 14・15行目 インターネットなどのデジタル技術を活用した食育の推進が、効果的に行われる場所だと考えられる「家庭における食育の推進」の本文中に、「デジタル技術等を活用し」の文言を追記
計画の啓発	<p>企業では、中小の企業を対象に、地域産業保健センターで、健康診断などの結果相談をしているので、そこに資料配付が出来たらいいのではないかと。</p>	<p>これまで、徳島市食育推進計画の策定時に、商工会議所等の各関係機関に啓発リーフレット(概要版)を配布してまいりましたが、今回、地域産業保健センターにもご協力をいただけることになりました。今後も、各関係機関と連携しながら、効果的な広報に努めてまいります。 また、市民アンケート調査結果についても、結果の主な点を概要版に掲載し、市の現状や課題も含めて、計画の広報ができるよう検討いたします。</p>
	<p>県では県民栄養調査の結果を一つの冊子にして広報している。この徳島市民アンケート調査結果についても、市の問題点も含めて、広報していけたらいいのではないかと。</p>	

第2回市民会議におけるご意見への回答一覧

意見内容		意見に対する回答
2 各施策について		
食品ロス	食品ロス削減の啓発については、積極的に行っていけたらいい。「30・10運動」が継続して皆にもらえる運動になるといい。	<p>いただいたご意見については、関係各課と情報共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>また、ご意見を踏まえ、以下のとおり文言を修正します。</p> <p>● P32 「30・10(さんまる いちまる)運動」に関する用語解説を追記</p>
栄養指導	<p>自宅の食事で、適正な栄養管理ができていない人や野菜摂取について意識はしているけども、実践が難しいという人が多くいる状態がある。若い人がどうやったら上手に食べられるかという事を、栄養士の方々に教えて頂く機会がたくさん増えればいい。</p> <p>BMIの肥満判定では、意外に年代の高い人が調度良いという人が少なく二極化している。色々な場面や色々な世代に、栄養指導を広げていく必要がある。</p> <p>アンケートの中でも、中食を利用している人が、中年以降の年代だけではなく、子ども達の年代でも結構な割合で使っている。実際に、野菜を多く採る方法というのは中々難しく、テイクアウトでも非常に少ない。中食の利用の仕方を教えてもらえるような冊子を用いて、市民に啓発してあげたらありがたい。いかに上手に食品を食べるかが重要だと分かっているけどもできないというのが実態である。</p> <p>どの世代においても中食は欠かせなくなっており、最近では中食を抜きにして栄養指導をすると成り立たない様な所も見受けられる。中食を利用しながら、品目を多くしたり、食品を網羅したりして、どのようにうまくバランスを摂っていくかというところを、食育を通して色々な世代に浸透できたらいいのではないかと。「この日はこうしよう」というようなキャッチフレーズがあれば、浸透しやすいと思う。</p> <p>中高生のスポーツをしている子ども達に携わっている中で、一食分の写真を見せてもらった時には、バランスがいいと思ったりするが、2・3日分の写真を見ると、食品群別のきのこ類や種実類など、全然摂れてない食材がある。そのようなアプローチも、今後個別指導にはなるかもしれないが、情報として出して行ければ面白いのではないかと。</p>	<p>母子保健においては、母子健康手帳交付時に、個別面談において妊娠期や産後の食事バランスや注意点について情報提供しています。また1歳6か月児および3歳児健診において、カウプ指数で肥満傾向がみられる場合には個別栄養相談を実施し、継続的にフォローしています。乳幼児相談時や電話等で希望があれば、面接や家庭訪問による個別栄養相談も実施しています。</p> <p>成人や高齢者においては、広報による栄養相談希望者、また本市の特定健康診査受診者を対象に、個別栄養相談または集団栄養教育を実施しています。健診受診者に対しては、従来からの疾患別重症化予防対象者へのアプローチに加えて、徳島市の健康課題である肥満やメタボのある方を対象に、面接や家庭訪問による個別栄養相談を実施しています。個別相談においても中食の利用者は増えている傾向にあり、コンビニや外食中食の上手な利用方法についての資料等も活用し、個別に対応させていただいています。</p> <p>次期食育推進計画においても、「若い世代からの生活習慣病予防への取り組み」として、引き続き、若い時期からの疾病予防・健康づくりを目的とした、小・中学校の保護者や各種団体等を対象とした健康教育・健康相談の実施や、野菜摂取量増加への取り組みとして、「野菜de生活習慣病予防教室」を定期的に開催し、家庭においても簡単に野菜を取り入れられるよう、「ヘルシーレシピ集」としてホームページなどへの掲載を実施してまいります。</p> <p>いただいたご意見については、関係各課と情報共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

第2回市民会議におけるご意見への回答一覧

意見内容		意見に対する回答
食育の啓発	資料3、15ページの「食事バランスガイド」や「食生活指針」をインターネットや広報誌で周知し、色んな所で目にする機会が増えればいいのではないかと。	「食事バランスガイド」や「食生活指針」については、本市ホームページや啓発リーフレットなどを活用し、食育推進計画に関する情報発信だけではなく、食育そのものの内容についても、「食事バランスガイド」や「食生活指針」を活用しながら、分かりやすく幅広く周知できるような工夫を検討してまいります。
以下は、会議後に寄せられた意見です(会議録には未掲載)		
栄養指導 (計画の推進)	<p>19ページの「① 高齢者の健康づくりの推進」内の本文中に、「食べて元気にフレイル予防」の推進という言葉を加えてほしい。</p> <p>国の骨子案にも「地域高齢者の低栄養・フレイル予防」とあり、徳島市民の皆様へ早期からの介護予防に食事からアプローチしていくうえで、検討してほしい。</p> <p>25ページ「3 地域における食育の推進」内、【現状・課題と取り組みの方向性】において、コロナ禍において食育に関する講座など、特に料理教室が延期、中止となっている現状を踏まえ、今後は、zoomなどを利用しリモートで食育指導や調理実習の開催を促進していただくようお願いしたい。</p> <p>また、妊産婦への食事指導もリモートで行うことにより、より多くの皆様が気軽に利用できるようになれば、早期栄養指導が可能となり、障害を持つお子さんの減少やアレルギー疾患の減少につながると思う。</p> <p>国の骨子案にあるように、デジタル化への対応を言葉と内容で示していただくようお願いしたい。また、若い世代のみならず、幅広い市民にデジタル化を進めていくことが、コロナ禍における孤立の防止にもつながると期待している。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり文言を修正します。</p> <p>● P16 1 家庭における食育の推進 【現状・課題と取り組みの方向性】 20・21行目 本市においても、高齢者のやせの割合が増加しており、高齢者の低栄養の問題があることを追記</p> <p>また、コロナ禍における食育推進の方法として、従来の方法に加えて、デジタル化に対応した施策の展開は効果的だと考えております。一方で、高齢者やインターネット環境が整えられていない方などへの配慮も必要だと考えており、今後事業の目的や対象者に応じて、効果的な手法を検討してまいります。</p>